公表	事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援　ばんび			
○保護者評価実施期間	R7年11月10日	～	R7年12月27日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	39	（回答者数）	21
○従業者評価実施期間	R7年11月10日	～	R7年11月25日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団での療育と個別での療育	集団での療育と個別の療育双方の視点で子供にアプローチして療育を行う。	引き続き、集団、個別の両視点で発達支援を行っていく
2	ポーテージプログラムを基にした支援	応用行動分析を基にした子供へのアセスメントと関わり。個別の療育相談日を設定し保護者の相談にも応じている。	引き続き、専門的な視点で発達支援を継続する。
3	自然に囲まれた療育空間	季節の良い時期には園庭に出かけて戸外遊びをしたり、散歩に出かけたりします。	引き続き、安全に戸外遊びができるように環境を整えていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	広報周知	奈良市の支援が必要な方へ児童発達支援ばんびの療育を知ってっもらう機会が少ない	関係機関とのさらなる連携を行っていく。Ｒ７年１２月より１歳から３歳を対象にした療育につながる前の親子を対象とした親子教室を開始し、入り口支援を強化しています。
2			
3			